

環境教育 News

発信元：長野大学森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育

長野県上田市下之郷 658-1 〒386-1298

TEL 0268-39-0202 FAX 0268-39-0202

この資料はご自由にどうぞ(無料)。平成21年11月発信

[市民開放講座(無料)] 長野大学「森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育」プログラム

3つの体験型野外実習を合同で開講 ～森の恵みの活用を地域の皆さんと共に学ぶ～

「森林内における堆肥づくり」・「森で学ぶ映像制作の基礎」・
「グループの雰囲気や和らげるコツーアイスブレイキングの理論と実践」

2009年12月5日(土) 10時00分～14時30分 ー大学構内「AUN 長野大学恵みの森」にて実施ー

長野大学「森の恵みクリエイター養成講座」では、3つの体験型野外実習(「森林内における堆肥づくり」・「グループの雰囲気や和らげるコツーアイスブレイキングの理論と実践」・「森で学ぶ映像制作の基礎」)を合同で開講します。野外実習の内容は、「堆肥の作り方と堆肥づくりがもたらす生物多様性の変化を学ぶ」・「堆肥づくり取材し、ニュース放送用ビデオを制作する方法を学ぶ」・「初めて会う人たちとコミュニケーションを取り、グループの雰囲気や和らげる方法を学ぶ」のように異なります。実習の中での役割や関心の異なる学生が協働することによって、学生は新たな関心を獲得し、視野を広げることができます。また、協働のためのコミュニケーション能力を養成することも、3つの実習を合同で開講することのねらいの一つです。しかも地域の小学生児童と保護者の皆さん、一般社会人の皆さんにもご参加いただけます。地域と共に学ぶ環境教育プログラムでもあります。

ここまで「体験」と「協働」を重視した環境教育は、全国的にみても画期的な試みです。



【森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育とは】 この環境教育プログラム《平成20年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」(教育 GP) 選定事業》では、「森の恵みクリエイター養成講座」を開講し、森の恵み(生態系サービス)の利活用を通じて、地域社会の持続的な発展に貢献できる人材の育成を目指します。

※ 左の写真は、2008年12月6日の野外実習「堆肥づくり」のようす

◆ 堆肥づくりのねらい

落葉から単に腐葉土をつくるだけの堆肥づくりではありません。森の中で堆肥づくりを行うと、カブトムシなどの甲虫がそこを産卵場所として利用するようになり、森全体にカブトムシの成虫が増えることが期待されます。まさに、昆虫採集を楽しむための森づくりなのです。

◆ 参考 URL: 長野大学「森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育」とは

長野大学のホームページ: <http://gp-morinomegumi.nagano.ac.jp/>

アサヒコム教育 GP 特集のページ: <http://www.asahi.com/ad/clients/2008gp/nagano.html>

この件に関するお問い合わせ先

長野大学環境ツーリズム学部の高橋 一秋(たかはし かずあき)までお願いいたします。

TEL : 0268-39-0136(ダイヤルイン) 携帯 : 090-4379-2828 E-mail : k-takahashi@nagano.ac.jp